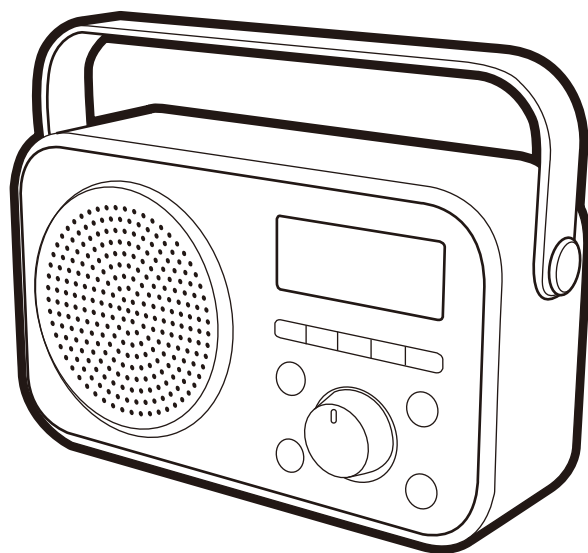


取扱説明書

ラジオ付手元スピーカー

型番 **DTS-WS230**



使い方動画

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全ご使用ください。お読みになったあとは保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ取扱説明書とともに大切に保管してください。また、本製品は家庭用として作られています。ご使用前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

もくじ

安全上のご注意	1-3	修理・サービスを依頼いただく前に	13
各部の名称	4-5	アフターサービス	14
使い方	6-11	仕様	14
お手入れと保管	12	保証書（持込修理）	15

- イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.
- この取扱説明書に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただかなければならないことを説明しています。また注意事項は、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることにより生じると想定される内容を[危険][警告][注意]の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 危険

取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。

⚠ 警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



このような絵表示は、必ず実行しなければならない内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

※お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでもお読みいただける場所に必ず保管してください。

⚠ 危険



絶対に分解や修理・改造をしない

- 発火や異常動作して感電・災害・ケガにつながる恐れがあります。

分解禁止



湿気の多いところや水のかかるところへの

設置は避け、水につけたり、水をかけたりしない

- ショートなどによる感電や火災の原因になります。

水ぬれ禁止



傷んだ電源プラグや電源アダプター、
電源コードは、絶対に交換・分解・修理・
改造をしない

- ショートなどによる感電や火災の原因になります。
破損したときはただちにご使用を中止し、販売店
または当社コールセンターにご相談ください。



心臓にペースメーカーを装着されている方や、
医療機関、医療機器の近くでは使用しない

- 本製品からの電波の影響による機器の誤作動、
事故の原因になります。

⚠ 警告



AC100V以外では使用しない

- 発熱による火災や感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える
使い方をしない(延長コード・電源タップ・
タコ足配線などの状態で使用しない)

- 他の機器と併用したり、定格を超えたりすると
分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れ
があります。



電源プラグを濡れた手で抜き差ししない

- 感電の原因になります。

濡れ手禁止



お子さまや意思表示が困難な方に使用
させたり、乳幼児の手が届くところで
使用したりしない

- 感電やケガの恐れがあります。



梱包用ポリ袋などは、幼児の手の届かない
ところに保管する

- 被るなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の
原因になります。



犬や猫など、ペットがいる部屋で
使用するときは十分注意する

- ペットが本体やコードを傷め、火災につながる
恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

 水平でない場所や不安定な場所に置かない ●故障や事故、ケガの恐れがあります。	 他の機器に本製品の電源アダプターや電源コードを使用しない ●製品が正常に作動せず、故障の原因になります。
 本体に強い衝撃を与えない ●ケガや故障の原因になります。	 電源プラグや電源アダプター、電源コードの損傷につながる次のようなことはしない (傷つける・加工する・熱器具に近づける・無理に曲げる・ねじる・引っ張る・束ねた状態で使用する・重いものをのせる など) ●ショートなどによる感電や発火の原因になります。電源プラグや電源アダプター、電源コードが破損したときは、ただちにご使用を中止し、当社コールセンターにご相談ください。 ※電源コードを束ねている結束バンドは必ず外してご使用ください。
 本体の隙間にピンや針金などの金属物や異物を入れない ●感電や異常動作して、ケガや故障する恐れがあります。 ●異物が入ったときは、ご使用を中止しお買上げの販売店または当社コールセンターにご相談ください。	
 次のような場所、環境では使用しない 故障の原因になります ●水がかかるところや湿度が高いところ ●異常な高温・低温などの環境 ●ホコリや金属片の多いところ ●油や薬品のかかるところ ●ガスレンジや引火性スプレーのあるところ ●火気など熱源に近いところ ●直射日光のあたるところ	 以下の異常が発生した場合、ご使用を中止し、当社コールセンターにご相談ください ●本体内部が濡れた場合 ●本体が破損した場合 ●本体から煙、火花がでた場合 ●液晶表示部のちらつき・破損が発生した場合
 排気口をふさいで使用しない ●本体内部に熱がこもり、発火の原因になります。 ●本棚やラックの中など狭い場所に設置しない。 ●本体に布やカーテンなどを掛けたり、覆ったりしない。	 製品は定期的にお手入れをする ●ホコリや汚れがたまると、発火・発煙などにつながる恐れがあります。
 磁気の影響を受けやすいものを近づけない ●スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなる恐れがあります。	 ヘッドホン接続前に音量を下げる ●音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。
 過度にアンテナを調節しない ●破損する恐れがあります。	 ラジオ使用時はテレビや電子レンジなどの電子機器から離して使用する ●ラジオに雑音が入る場合があります。
 電源プラグや電源アダプター、電源コードが傷んでいる場合、ゆるんだコンセントで差し込みが不完全な場合は使用しない ●ショートなどによる感電や発火の原因になります。 ※電源アダプターや電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。	 長期間使わないときは、乾電池を取り出す ●液漏れ・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
 当社指定の電源アダプターや電源コード以外は使用しない ●製品が正常に作動せず、故障の原因になります。	 プラグを抜く 使用時以外は、電源プラグや電源アダプターをコンセントから抜く ●ケガやヤケド、電源コードなどの絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。  電源プラグや電源アダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグや電源アダプターを持って引き抜く ●電源コードが断線してショートなどによる感電や発火の原因になります。

安全上のご注意

無線通信 (Bluetooth) について

- 本製品の無線通信は2.4GHzの周波数帯域を使用します。電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、アマチュア無線局および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）などが運用されています。
- 本製品をご使用になる前に、近くで移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 本製品をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用（電波の発射）を停止してください。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところへは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。
※病院などの医療機関、電車、航空機
※自動ドアや火災報知機の周辺
※心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、当社コールセンターへご相談ください。

良好な通信を行うために

- 見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。
接続が頻繁に途切れたり、通信速度が低下することがあります。
- 他のBluetooth対応機器と同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- 本製品などのBluetooth機器は無線LAN機器と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN機器の近くで使用すると電波干渉が発生して、通信速度の低下や接続不能につながることがあります。このような場合は、使用しない機器側の電源を切ってください。
- 本製品は、すべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証するものではありません。

電波法に基づく認証について

- 本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として認証を受けています。
本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に貼っている定格ラベルを消す・はがす行為は、法律により罰せられることがあります。

海外での使用について

- 本製品のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

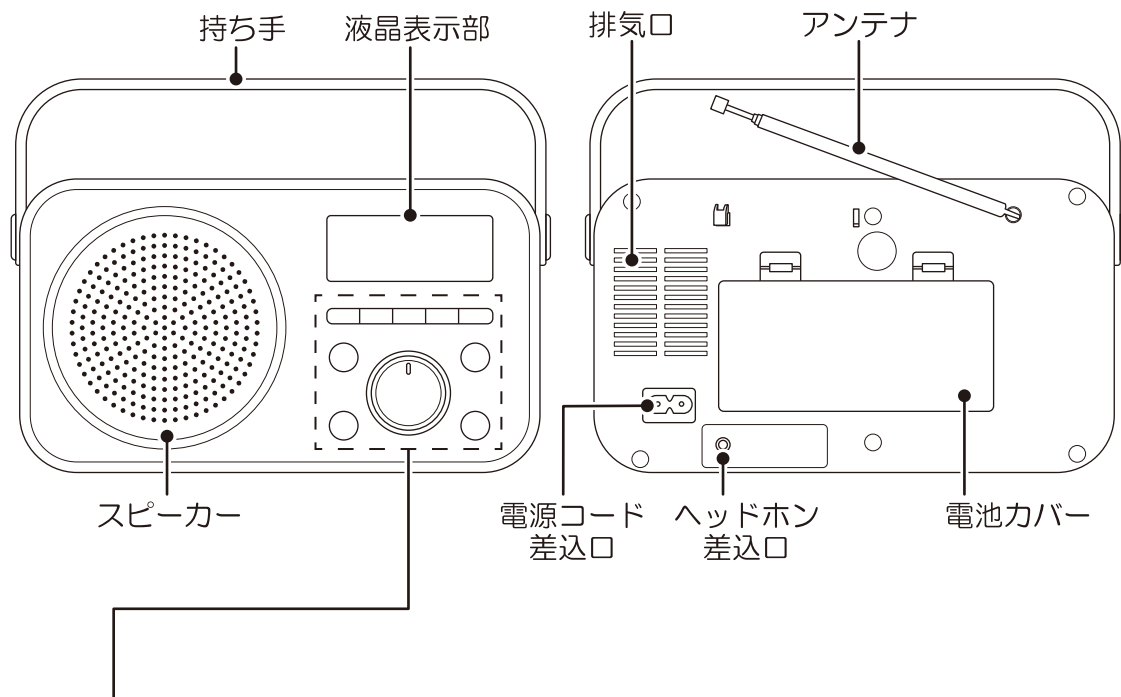
免 責 事 項

- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

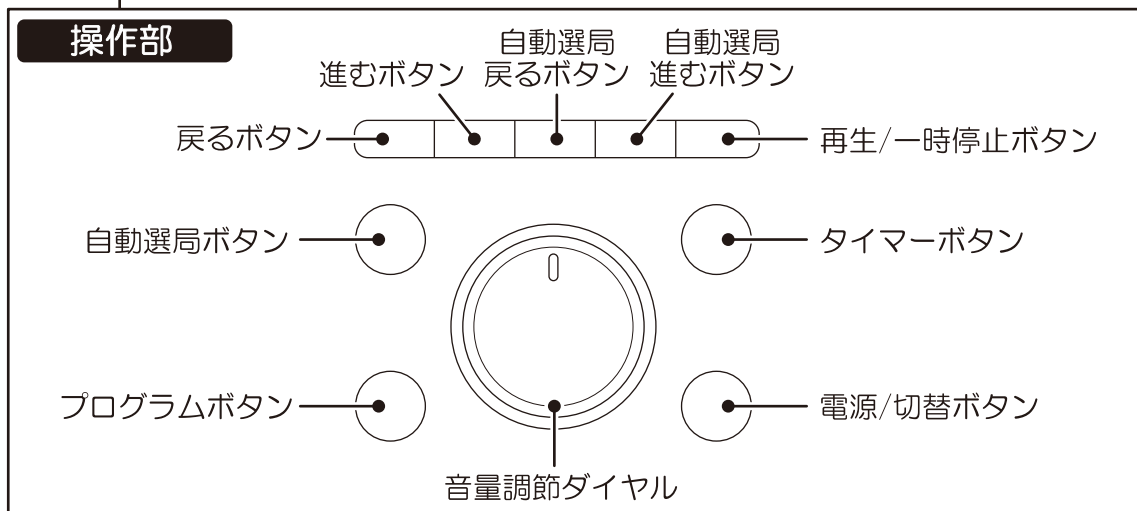
各部の名称

前 面

後 面



操作部



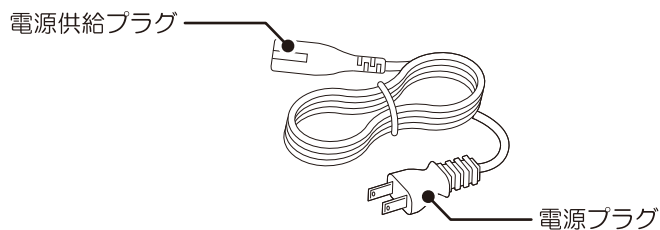
●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

各部の名称

付属品

《 本体 ↔ コンセント 接続用 》

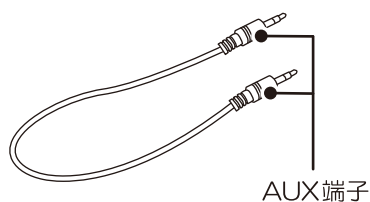
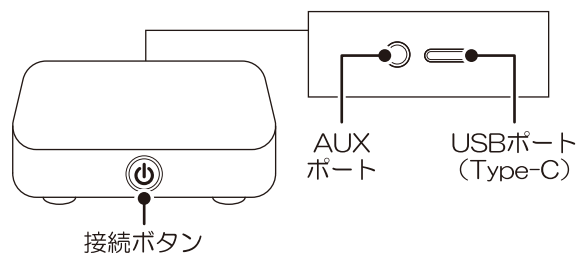
本体用電源コード×1



《 送信機 ↔ テレビ 接続用 》

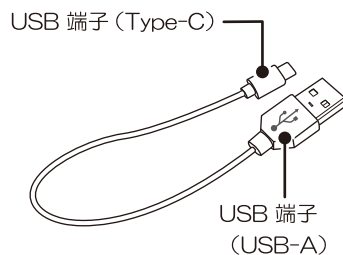
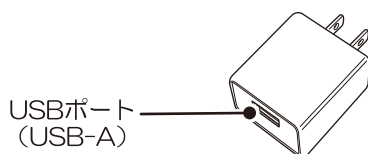
送信機 × 1

テレビ接続用コード × 1



送信機用
電源アダプター × 1

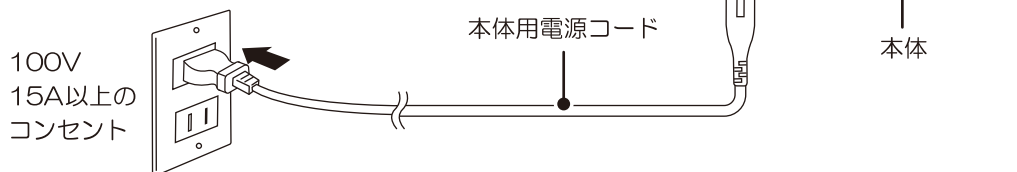
送信機用
電源コード × 1



使い方

家庭用電源を使う

- 本体と付属の本体用電源コードを図のように接続します。



お願い

- 電源コードは必ずほどいた状態でご使用ください。
結んだり、束ねたりしたままご使用されますと、発熱や発火の恐れがあります。
- コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

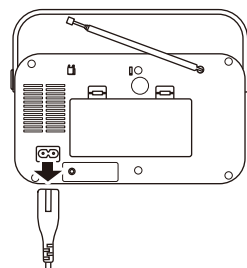
乾電池(別売)を使う (単2形アルカリ乾電池×4)

《はじめに》

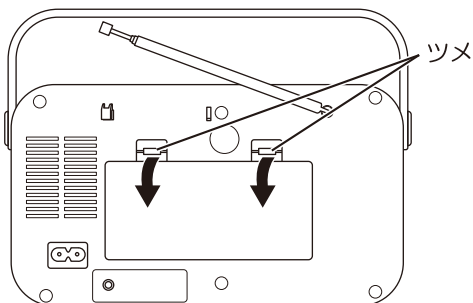


お願い

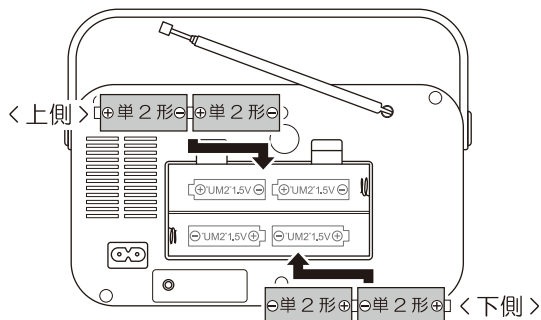
- 電源コードを本体に差し込んでいる場合は、電源コードを抜いてください(電源コードを本体から抜かないと乾電池電源に切り替わりません)。



- ①電池カバーのツメを矢印の方向に押し引き出します。



- ②「 $\oplus$ $\ominus$ 」の表示に合わせて電池を入れ、電池カバーを閉めます。



お願い

- 必ずアルカリ電池を使用してください。
- 動作しづらくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 液もれによる故障の恐れがあるため、長期間使用しないときは電池を取り出してください。
- 液もれが起こった場合は、液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 使用済みの電池は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従って廃棄してください。
- 電池の「 $\oplus$ $\ominus$ 」を間違えないように正しく入れてください。

使い方

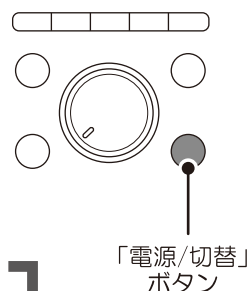
基本操作



- 電源を入れる前に、音量調節ダイヤルを左側に回し、最小音量にする
●音量を上げすぎた状態で電源を入れると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。

電源を入れる / 切る / 機能を切り替える

- 「電源 / 切替」ボタンを押すと電源が入ります。
※長押しでは電源が入りません。
液晶表示が消えるまで「電源 / 切替」ボタンを長押しすると電源が切れます。
- 「電源 / 切替」ボタンを押すたびに下図の操作ができます。

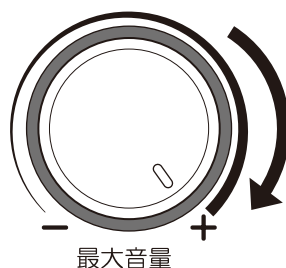
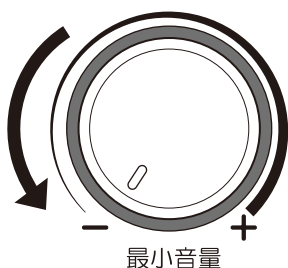


機能切替



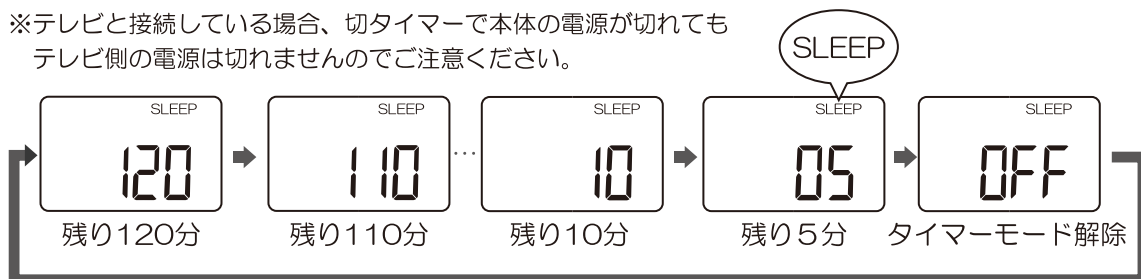
音量を下げる / 上げる

- 音量調節ダイヤルを左側に回すと音量が下がります。右側に回すと音量が上がります。



タイマーモードを使う

- 「タイマー」ボタンを押すと、切タイマーが設定されます。
液晶表示画面に「SLEEP」と残り時間が表示されます。
「タイマー」ボタンを押すごとに、時間を変更できます。
設定後、約 5 秒経過すると元の表示に戻ります。
120 ~ 10 分は 10 分間隔、10 ~ 0 分は 5 分間隔で設定できます。
- ※テレビと接続している場合、切タイマーで本体の電源が切れてもテレビ側の電源は切れませんのでご注意ください。

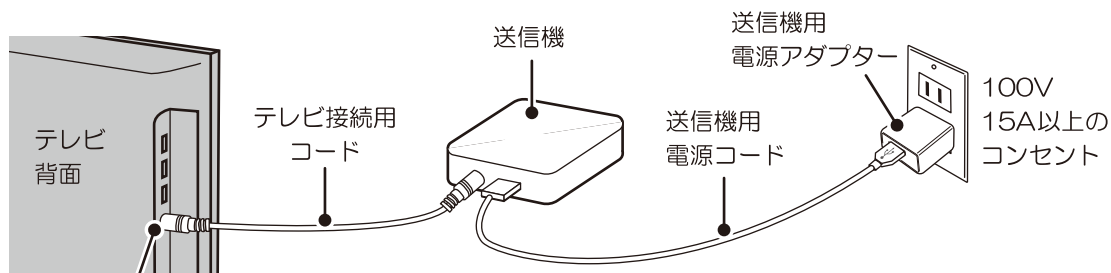


使い方

テレビの音声を聴く

送信機をテレビに接続する

- 付属の送信機、テレビ接続用コード、送信機用電源コード、送信機用電源アダプターを図のように接続します。接続すると送信機の接続ボタンが弱く点灯します。



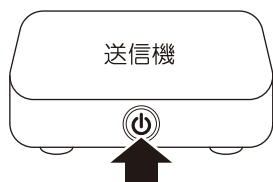
テレビのヘッドホン差込口または、音声出力差込口に接続します。

※テレビのイラストはイメージです。ヘッドホン差込口・音声出力差込口の位置は、ご使用のテレビの取扱説明書をご確認ください。

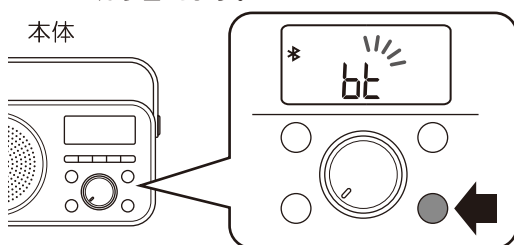
本体と送信機をワイヤレス接続する

※送信機の 30m 以内の範囲で本体をご使用ください。

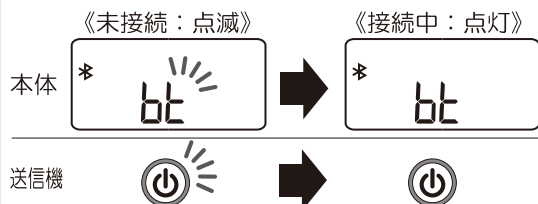
- 1 送信機の接続ボタンを押します。
接続ボタンが点滅するとワイヤレス接続できる状態です。



- 2 本体が最小音量になっていることをご確認の上、「電源 / 切替」ボタンを押して電源を入れる、またはワイヤレス接続画面に切り替えます。

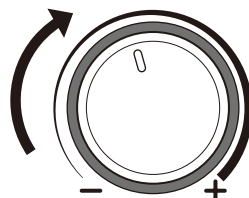


- 3 数秒後、自動的に送信機とつながります。
本体のワイヤレス接続画面表示と送信機の接続ボタンが点滅から点灯に変わります。



- 4 テレビの電源を入れ、本体の音量を聴きやすい音量まで上げます。

※音声出力差込口に接続している場合、必要に応じてテレビ側の音量を下げてください。



!
お願い

- 接続が不安定な場合は、電源プラグ、電源アダプターの抜き差しを行ってください。
- ご使用にならないときは、安全と節電のため電源プラグ、電源アダプターをコンセントから抜いてください。運転をしていなくても、約1Wの電力を消費します。

使い方

送信機の接続をリセットする

- 送信機の接続ボタンの点滅が終わるまで接続ボタンを長押しすると本体との接続を解除します。
※本体の電源が切れた状態で行ってください。



長押しリセット

Bluetooth対応の外部機器とつなぐ

- Bluetooth対応の携帯電話、スマートフォン、オーディオプレーヤー、ホームプロジェクターなどの機器とペアリングすることで、ペアリングした機器の音楽・音声などを聴くことができます。



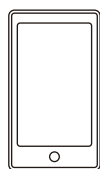
お願い

- スマートフォンの一部機種では、ヘッドホン使用時の安全のため突然の大音量を抑えるための機能が備わっている場合があります。スマートフォンでペアリングした際に音量が小さく感じたときは、スマートフォン側の機能設定をご確認ください。
設定方法は接続している機器の取扱説明書をご確認ください。
- 接続している機器の機種によっては、本体ボタンが反応しない場合があります。
その場合は、接続している機器側で操作を行ってください。

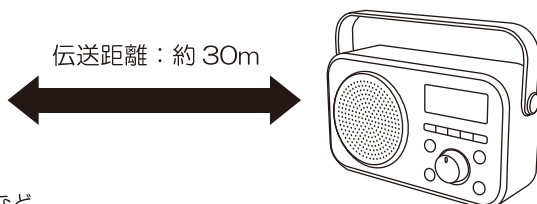
ペアリングする

- ①本体が最小音量になっていることをご確認の上、「電源 / 切替」ボタンを押して、「ワイヤレス接続」設定に切り替えます。
- ②ペアリングする機器から「DTS-WS230」を選択してください。
※検索方法は接続する機器によって異なります。
- ③本体のワイヤレス接続画面表示が点滅から点灯に変わります。
※一度ペアリングすると、以後は自動的に接続されます。
※ペアリングできない場合は、ペアリング機能を解除して、再度接続してください。

ワイヤレス接続



スマートフォンなど

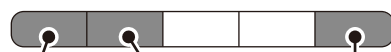


本製品のデバイス名
DTS-WS230

- ④本体の音量を聴きやすい音量まで上げます。
※必要に応じて外部機器の音量も上げてください。

再生 / 停止する

- 「再生 / 一時停止」ボタンを押すと曲や音声などを一時停止します。もう一度押すと再生します。



「戻る」
ボタン

「進む」
ボタン

「再生/一時停止」
ボタン

曲を選ぶ

- 再生中や停止中に「戻る」ボタンまたは「進む」ボタンを押して曲を選択します。
※外部機器や外部機器内のアプリケーションによっては本体操作で曲を選ぶことができません。

使い方

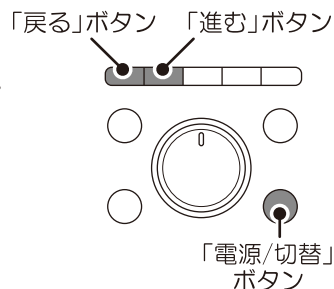
ラジオを聴く



テレビなどの電子機器から離して使用する
●ラジオに雑音が入る場合があります。

ラジオを聴く

- 「電源 / 切替」ボタンを押して、ラジオ AM/FM 設定画面に切り替えます。

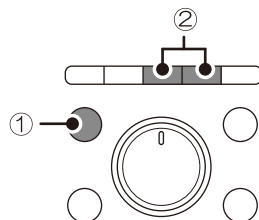


手動選局する

- 「戻る」ボタンまたは「進む」ボタンを押して手動で周波数を合わせます。
長押しすると、電波状況の良い放送局を自動的に受信します。

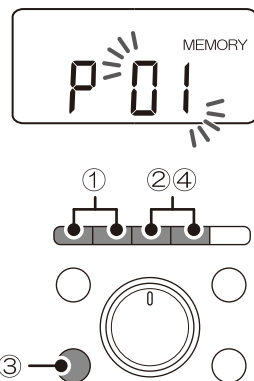
自動で放送局を登録する / 登録局を選ぶ

- ①「自動選局」ボタンを押すと、プログラム番号の「P01」から順に、周波数の低い放送局から自動的に登録していきます。
 - AM/FMそれぞれ最大30放送局まで登録できます。
 - ※受信状態が悪いと登録できません。
 - ※自動登録は数十秒の時間がかかります。
- ②放送局登録後、「自動選局 戻る」ボタンまたは「自動選局 進む」ボタンで聞きたい登録局を選びます。
 - 数秒後、選択した放送局の周波数に切り替わります。



手動で放送局を登録する

- ①「戻る」ボタンまたは「進む」ボタンを押して登録したい放送局を選択します。
- ②「プログラム」ボタンを押します（液晶表示部は「P01」と表示され、数字部分が点滅）。
 - プログラムに登録したい番号を選択する場合、数字部分が点滅している間に「自動選局 戻る」ボタンまたは「自動選局 進む」ボタンを押し、「P01」～「P30」のいずれかを選択します。
- ③「プログラム」ボタンをもう一度押し放送局の登録を確定します。
 - AM/FM それぞれ最大30放送局まで登録できます。
- ④放送局登録後、「自動選局 戻る」ボタンまたは「自動選局 進む」ボタンで聞きたい登録局を選びます。
 - 数秒後、選択した放送局の周波数に切り替わります。



●登録局が消去される条件

以下の場合に設定した現在の登録局は消去されます。

- ・自動で放送局を登録しなおした場合
- ・手動で放送局の登録を上書きした場合

※登録局が消去されない間は、何度でも登録した放送局を聴くことができます。

使い方

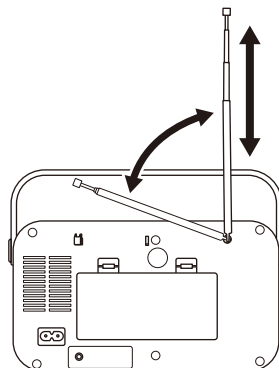
ラジオを聴く

受信状況を良くする

AM



FM



- 本製品の向きを変え調節してください。
※AM アンテナは本体内に内蔵されています。

- アンテナを伸ばして、向きを調節してください。
- 建物内部では電波が弱くなります。
雑音が増える場合はなるべく窓際に置いてください。

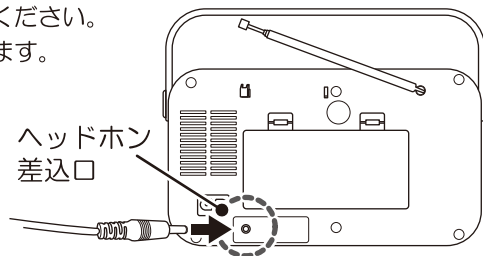


過度にアンテナを調節しない

- 破損する恐れがあります。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホン差込口にお持ちのヘッドホン端子を接続してください。
※ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。



お願い

- ヘッドホン接続前に、音量調節ダイヤルを左側に回し、最小音量にする
- 音量を上げすぎた状態で電源を入ると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。

お手入れと保管

- 電源プラグや電源アダプターをコンセントから抜いてからお手入れしてください。

お手入れについて

電源プラグ・ 電源アダプター		電源プラグや電源アダプターとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、電源プラグや電源アダプターを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
本体・ 送信機		汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。シンナーやベンジンで拭かないでください。

※水や中性洗剤以外では拭かないでください。樹脂や塗装部分が変色・変質する恐れがあります。
※殺虫剤、整髪料、掃除用洗剤などのスプレーをかけないでください。破損・変質の原因になります。

《保管について》

- 保管の前は、必ずお手入れを行ってください。
- お手入れ後、梱包ケースに入れるかポリ袋を被せて、湿気の少ない場所に保管してください。
- 製品は異常な高温・低温などの環境で保管しないでください。

修理・サービスを依頼いただく前に

故障かなと思ったときは、次のことを調べていただいた上、異常がある場合はご使用を中止し必ず販売店または当社コールセンターへご相談ください。

症 状	原 因 と 対 策
電源が入らない 運転しない	●電源が正しく接続されていない。 →電源プラグ・電源アダプターをコンセントにしっかりと根元まで差し込んでください。 ●電源コード、乾電池の両方を使用している。 →乾電池使用の場合は、電源コードを抜き、電池の「$\oplus$ $\ominus$」を確認してください。 ●電池の残量がない。 →新しい電池と交換してください。
音量を上げてても音が小さい	●外部機器側の音量が低い。 →外部機器側の音量を上げるか設定を変更してください。 ●電池の残量が少ない。 →新しい電池と交換してください。
送信機と本体が接続されない	●送信機などの付属品が正しくテレビやコンセントに接続されていない。 →テレビのヘッドホン差込口にテレビ接続用コードを接続してください。 ●送信機の接続ボタン周りが弱く点灯している。 →送信機の接続ボタンを押し、ワイヤレス接続状態(点滅)にしてください。 ●外部機器(スマートフォンなど)とペアリングしている。 →ペアリングを解除してください。 上記3項目を行っても上手く接続できない場合は、送信機の接続ボタンを長押ししてリセットし、再度接続ボタンを押してワイヤレス接続状態(点滅)にしてください。
テレビの雑音が多い	●電子レンジなどの電子機器の近くに設置している。 →電子レンジなどの電子機器から離れた場所に設置してください。 ●送信機と本体の間に壁などの障害物がある。 →送信機と同じ部屋で使用してください。 ●送信機と本体の距離が離れている。 →30m 以内でご使用ください(使用環境により伝送距離は異なります)。
ラジオの雑音が多い	●電波が届きにくい場所に設置している。 →窓際に設置し、アンテナの向きを調節してください。 ●テレビ・電子レンジなどの電子機器の近くに設置している。 →テレビ・電子レンジなどから離れた場所に設置してください。
外部機器の音が本体から出ない	●送信機と本体が接続されている。 →送信機の接続を切り、電源アダプターをコンセントから抜いてください。 ●外部機器側の音量が最小になっている。 →外部機器側の音量を上げるか設定を変更してください。
電源プラグ・電源アダプターが熱くなる	●コンセントの差し込みがゆるくなっている。 →コンセントがゆるい場合はご使用を中止してください。 ●延長コード、タコ足配線などの状態で使用している。 →延長コード、タコ足配線などの状態での使用は避け、電源プラグ・電源アダプターをコンセントに直接差し込んでください。 通常でも電源プラグ・電源アダプターは約 40 ～ 50℃程度の熱を持ちます。異常ではありません。

- 絶対に分解や修理・改造をしないでください。
発火や異常動作して感電・災害・ケガにつながる恐れがあります。

アフターサービス

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、お買上げの販売店または当社コールセンターへご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証書欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意がない限り第三者への開示または提供はいたしません。

仕 様

本体

電源	AC100V 50/60Hz DC 6V(単 2 形アルカリ乾電池)×4 本(別売)
消費電力	11W
受信周波数	AM : 522 ~ 1629KHz FM : 76 ~ 108MHz
スピーカーユニット	Φ76mm コーン型スピーカー
実用最大出力	2W 4Ω
出力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック
Bluetooth仕様	Bluetooth Ver.5.0
電池持続時間(最大音量時)(約)	15 時間(※)
製品寸法(約)	幅 236× 奥行 91× 高さ 130mm
製品重量(約)	790 g(乾電池を含まない)

※あくまで目安であり、稼働時間を保証するものではありません。

送信機

電源	DC5V 1A (付属の送信機用電源アダプターを使用)
消費電力	5W
送信周波数帯	2.4GHz帯
伝送距離(約)	最大30m(使用状況により異なる)
製品寸法(約)	幅80×奥行80×高さ20mm
製品重量(約)	46g

付属品

送信機用電源アダプター	電源	AC100V 50/60Hz
	出力端子	USB-A×1 (DC5V 1A)
本体用電源コード	電源コード長(約)	1.5m
送信機用電源コード		0.8m
テレビ接続用コード		1.0m

●製品の品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

DenkyoshA 株式会社 電響社

電話でのお問合せはこちら

コールセンター

☎:0120-070-440

受付時間

10:00～12:00・13:00～17:00
(土曜・日曜・祝日・当社休業日を除く)

ホームページでのお問合せはこちら

右側の QRコードを読み込んで
いただくか、検索フォームから
【電響社 問合せ】とご検索ください。

<https://www.denkyosha.co.jp/inquiry/>

QRコード



※ 通信料はお客様ご負担となります。あらかじめご了承ください。